

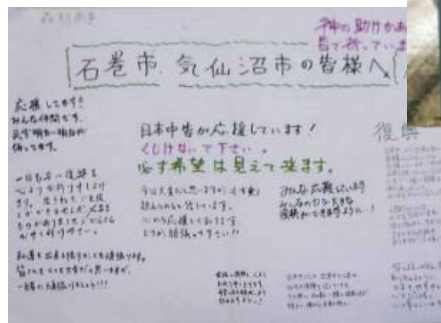
「今私たちにできること」 被災地救援レポート vol.1

3月11日 東日本大震災が発生しました。未曾有の被害に何が出来るかを考えていたところ、現地での輸送手段が不足しているためにせっかくの救援物資が被災者にいきわたらず困っているとの情報が入り、何とかしなければならぬという一念より社長が小回りのきくワンボックスカーを入手しました。

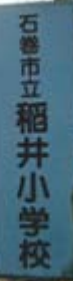
現在は日本国際開発機構に委託し救援物資の輸送に活用していただいています。急であったにもかかわらず、みなさまのご協力を得て多くのご提供をいただいたこと、現地からも感謝の声が届いていることを報告します。また今回のご提供の呼びかけにも多くの方からご賛同をいただき、4月18日発の便に向けてたくさんの物資があつまってきています。ご協力いただき誠にありがとうございます。



3月30日 森村商事より皆さんからの物資を積み込み出発



当社有志による寄せ書



現地での活動
日本国際飢餓機構HPより

社長からのメッセージです

この度の大惨事は私たち一人ひとりにも大きな心の衝撃と悲しみを与えました。

日本全体で、一人残らず皆でこの事実を受けとめ、そして何よりも応援し支えていく決意が本当に必要です。長期戦は覚悟しなければなりません、大切なことは私たちが皆で忘れず支え続けていくことです。小さな協力の輪は必ず大きな力となるものと信じます。

さて、過去の諸先輩方もきっとそうであったに違いない「我社の精神」にあるように博愛の精神を、今こそ世の中に生かしていくべきところでもあります。世の中に貢献すべき会社を目指す我々としても、とにかくどんな小さなことでもまずは目の前の小さな一歩から何か始めてみようではありませんか。

「皆で立ち上がろう！」はテレビのコマーシャルだけで終わらせないように、我々でもできることは何かないものか、各部の皆さんで知恵を寄せ合って考えてみようではありませんか。皆さまの温かいお心遣いに心から期待し、また感謝しています。

ご賛同いただける方は是非継続的にご協力お願いします。

森村 裕介